

春・秋 公開講演会 10年分のラインナップ

春の公開講演会は2015(平成27)年にスタートしました。2020年分以降は、ホームページで動画視聴が出来ます。

春の公開講演会(厚生労働省自殺防止対策事業)		開催年	秋の公開講演会(開局・周年記念事業)	
	ストレス社会をどう生きるか 田川療養所診察部審理室長 前田 和明	2015 平成27		誰でもわかる認知行動療法 ~こころを軽くするヒント~ 一般社団法人 認知行動療法研究開発センター理事長 大野 裕
	身近な関係に起きる暴力~相談・支援・ 防止啓発活動を通じて見えること~ NPO法人DV防止ながさき代表 中田 慶子	2016 平成28		癒しのユーモア ~いのちの輝きを支えるケア~ 淀川キリスト教病院理事長 柏木 哲夫
	私の臨床経験といのちの電話での経 験を振り返って 活水女子大学特別専任教授 長尾 博	2017 平成29		「万葉集」歌えば命の泉わく 奈良大学文学部教授 上野 誠
	いのちに寄り添う ~くちごもるだれかのとなりで~ NPO法人ウエスレヤン・コミュニティカレッジ 理事長/まちなか相談室「風の舎」代表 内村 公義	2018 平成30		ネット依存の現状と課題~深刻化する 若者への影響と急がれる社会的取組~ 独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター 院長 樋口 進
	児童虐待防止と地域でできること 長崎県長崎こども・女性・障害者支援センター 所長 柿田 多佳子	2019 令和元		中高年のひきこもり ~80・50問題の実態と背景~ 愛知教育大学大学院 教育実践研究科准教授 川北 稔 (基調講演者)
	性暴力被害者に関わって 見えて来たもの 元「サポートながさき」支援担当員 平山 由美子	2020 令和2		繰り返される偏見と社会的烙印(スティグ マ)~「コロナ禍」の中で見えてくる課題~ 長崎いのちの電話理事長 中根 允文
	生き辛さを抱える女性達 長崎県助産師会 中村 まり子 (基調講演者)	2021 令和3		コロナの時代を我々はどう生きるか 長崎大学熱帯医学研究所教授 山本 太郎
	With コロナの時代に向かって改めて問わ れる「聴くこと、寄り添うこと」の意義と意味 北九州いのちの電話 副理事長・研修委員長 富安 兆子	2022 令和4		釜ヶ崎で共に生きて見えた真実~今こそ 人が人として幸せに生きられる社会を~ カトリック司祭 本田 哲郎
	いのちのメッセージ ~死別の悲しみを超えて~ ちいさな風の会代表世話人 若林 一美	2023 令和5		子育てで一番大切なこと ~こころの健康を支える~ 福井大学 子どもの心の発達研究センター客員教授 杉山 登志郎
	僕は発達凸凹、 でも前向きに生きていく 「僕は発達凸凹の大学生」著者 山田 隆一	2024 令和6		大人も子どもも「助けて!」が言えな い~この社会を変えるヒントを探る 精神科医 国立精神・神経医療研究センター 薬物依存研究部部長 松本 俊彦

※講演者の肩書きは講演当時のものです。いずれも敬称略。



講師 水澤都加佐氏

HRI水澤都加佐
カウンセリングオフィス所長
Healing and Recovery Institute

援助という仕事の
「畏」と「贈りもの」
健康なつながりを築くために

11/3

2025[令和7]年 月曜日(祝)

14:00 講演開始

13:00 開場 / 16:00 閉会

13:30から[長崎いのちの電話]の紹介

●手話通訳あり、要約筆記あり

長崎県庁[1階大会議室]
〒850-8570 長崎市尾上町3-1



聴講料は無料です

WEB聴講できます

※会場の定員は150名です。事前の申し込みが必要です。

聴講のお申し込み・問合せ
長崎いのちの電話事務局

☎095-843-4410 / Fax095-844-3600 / メール ngsk-inoden@space.ocn.ne.jp

ホームページからもお申し込みいただけます。長崎いのちの電話 検索 <http://ngsk4343.sakura.ne.jp/>



主催：社会福祉法人 長崎いのちの電話

後援(順不同)：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県精神科病院協会、長崎県精神神経科診療所協会、長崎県医師会、長崎市医師会、長崎県歯科医師会、長崎県社会福祉協議会、長崎市社会福祉協議会、長崎県民生委員児童委員協議会、長崎県弁護士会、長崎県司法書士会、長崎県行政書士会、九州北部税理士会長崎支部、長崎県精神保健福祉協会、長崎県PTA連合会、長崎市PTA連合会、長崎県私立中学高等学校PTA連合会、佐世保市、諫早市、大村市、長崎県私立中学高等学校協会、佐世保市医師会、佐世保市教育委員会、長崎法人会、佐世保法人会、学校法人 純心女子学園、学校法人 活水学院、長崎県保育協会、NPO法人自死遺族支援ネットワークRe、NHK長崎放送局、(株)長崎ケーブルメディア、NBC長崎放送、NCC長崎文化放送、KTNテレビ長崎、(株)長崎国際テレビ、(株)エフエム長崎、長崎新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、西日本新聞社、長崎県薬剤師会

長崎いのちの電話チャリティー 『花と名曲』いのち奏でるコンサート 特別公演 京都カルテット



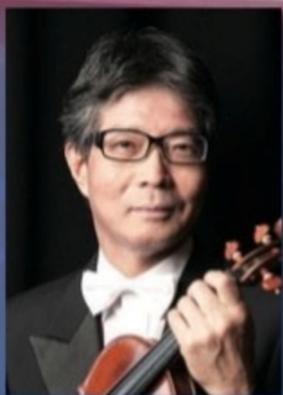
いけばなパフォーマンス
華道家元池坊 次期家元 池坊 専好

いのちをいかにするという精神に基づき、西国三十三所の各寺院やニューヨーク国連本部で世界平和を祈念した献花を行う。音楽や能、テクノロジー等の他分野とのコラボレーション活動も展開。公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 副会長・理事・シニアアドバイザー。



園城 三花
(フルート)

京都市生まれ。パウル・マイゼン氏に師事し、ミュンヘン音楽大学卒業。在学中からヨーロッパ各地日本での演奏活動を展開。2001年『京都府あけぼの賞』受賞。2017年から室内楽・フルートセミナー講師としてドイツへ招聘される。2018年社会福祉事業への募金のため『花と名曲』シリーズを立ち上げ全国で継続的に行っている。



釋 伸司
(ヴァイオリン)

京都市立芸術大学卒業。在学中より、テレマン室内管弦楽団に在団し、日本、ヨーロッパ各地の演奏会にソリスト、コンサートマスターとして出演。サントリー音楽賞他、受賞に貢献95年に退団。マイハート弦楽四重奏団、岡山フィルハーモニック管弦楽団首席奏者他、日本各地のオーケストラの客演首席奏者、企画等、様々な分野で活躍している。神戸女学院非常勤講師。



松田 美奈子
(ヴィオラ)

京都市立芸術大学卒業、同大学院修了。第二回宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門入賞。カザルスホールヴィオラスペース公開マスタークラスで川崎雅夫氏に師事。ヴァイオリンを故東儀祐二、岸邊百百雄、久合田緑、ヴィオラを永藤照夫、山本由美子、A.シュカーニック、M.ケイティムスの各氏に師事。元京都フィルハーモニー室内合奏団ヴィオラ奏者。



烏田 瑠萌
(チェロ)

相愛大学音楽学部卒業。斎藤秀雄奨励学生。ポッパーチェロコンクール銅賞、全日本芸術コンクール関西大会・全国大会共に最高位受賞。元京都フィルハーモニー室内合奏団メンバー。創立50周年記念第243回、第244回定期公演ほか、多数の公演でソリストを務め好評を博す。

『京都カルテット』 平成元年より園城三花、釋伸司を中心にアンサンブル演奏を始め、ヴィオラとチェロが加わり、令和元年「京都カルテット」として、“いのちの輝き・尊さ”をテーマに疲れた心に寄り添い、いのちの大切さを思えるひと時をともに過ごすトークコンサートを全国各地で展開しています。

11/29²⁰²⁵ 土

14:00 開演 (13:30 開場)

長崎 浦上天主堂 (長崎県長崎市本尾町1-79)

※長崎いのちの電話の募金ボックスにご協力ください。

[チケット]

入場無料 (全自由席)

[チケット・問い合わせ]

長崎いのちの電話事務局

☎ 095-843-4410



チケット申込QR

〈曲目〉

フラハ Resonance (共鳴)
モノー 愛の賛歌
パッヘルベル カノン /他

※出演者、曲目は変更となる場合がありますのでご了承ください。 ※就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮ください。

主催・企画：いのち奏でるコンサート

〈協力〉 MYSTAYS
MYSTAYS HOTEL GROUP

華道家元 池坊

Shinmyo

COUNTY HALL ARTS

「自殺予防いのちの電話 2025」Q&A

一般社団法人 日本いのちの電話連盟 事務局

Q1. いのちの電話とはどういう活動をしている団体ですか？

A1. 人が生きていくうえで何よりつらいことは孤独であると言われていています。いのちの電話は、孤独でつらい思いをしている方々が再び生きる力を取り戻せるように全国で電話相談活動をしています。自殺予防だけでなく、孤独や不安を抱えた人に寄り添う市民活動です。

Q2. いのちの電話の歴史はどうなっていますか？

A2. 「いのちの電話」の活動は、1953年に英国のロンドンで開始された自殺予防のための電話相談に端を発しています。日本ではドイツ人宣教師ルツ・ヘットキャンプ女史を中心として準備され、1971年10月日本で初めてボランティア相談員による電話相談が東京で開始されました。

1977年、当時いのちの電話は全国にわずか5つのセンターでしたが、この市民運動を全国に展開するために、その中心的役割を担う組織が必要となり、日本いのちの電話連盟が結成されました。その後この運動は飛躍的に拡大し、2011年10月1日には、いのちの電話開設40周年を迎える運びとなり、記念式典には、皇后陛下のご臨席を賜りました。

2025年現在、連盟加盟センターは50センターとなり、約6,000名の相談員が活動しております。2024年相談受信件数 576,507件。

Q3. なぜ9月10日から1週間実施するのですか？

A3. 2003年に世界保健機構と国際自殺予防学会が共催した世界自殺防止会議で9月10日を世界自殺予防デーと制定しました。これと連動して日本において自殺対策基本法に基づき、毎年9月10日から16日を自殺予防週間と定められました。その自殺予防週間に協賛する企画です。

Q4. 自殺対策強化月間が3月にありますが、その期間も同じ企画をやるのですか？

A4. 自殺対策基本法制定時には年間を通して3月が一番自殺者数が多かったことから、自殺対策基本法に基づき3月を自殺対策強化月間と定められました。3月に同様の企画を実施するかどうかは今回の実績を踏まえて検討したいと考えています。

Q5. フリーダイヤルを利用するメリットは何ですか？

A5. フリーダイヤルのメリットは、相談者が通話料を負担せずに相談できることです。また、覚えやすい1つの番号で全国のセンターにアクセスでき、空いている回線に自動的に接続されるため、電話がつながりやすくなっています。

Q6. 毎日 24 時間フリーダイヤルで受信はなぜ出来ないのですか？

A6. 現在、フリーダイヤルは毎月 10 日の 24 時間と毎日 16 時から 21 時までの 5 時間のみ利用可能です。これは、フリーダイヤルの通話料を受信側が負担しているためであり、その費用は厚生労働省の補助金で賄われています。しかし、補助金には限りがあり、毎日 24 時間の運用は難しいのが現状です。また、各センターでフリーダイヤルを受けるための体制にも限りがあるため、毎日 24 時間の対応は困難です。

Q7. 相談電話の受信はフリーダイヤルの他どのようなようになっているのですか？

A7. 各センター毎にその地域の固定電話番号による受信と全国統一のナビダイヤルによる受信をしています。

Q8. いのちの電話はつながりにくいと言われていますが、この施策によってつながりやすくなるのですか？

A8. フリーダイヤルの利用可能な日と時間が拡大されるため、その期間中は利用しやすくなると考えられます。ただし、通話が集中する時間帯には、つながりにくくなることもあります。その際は少し時間を置いておかけ直しいただくなど、ご協力をお願いいたします。